

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター
活動テーマ	東日本大震災被災者のための兵庫での受け入れ（一時滞在含む）事業



兵庫県へ移住してきた被災者の中から、「放射能の影響で福島の高校生が思うように屋外の部活や体育ができない」という声を聞き、福島の高校生に限らず、小さい子どもや保護者の兵庫県への一時避難の必要性を感じ、2011年8月に13日間、49名の福島の方々の受け入れをしました。その後も、長期休みには一時避難の受入がないのかという問い合わせがありました。

以上のようなニーズに応えるため、東日本大震災の甚大さ、原発事故による長期被害と復興の困難を軽減するため、兵庫県への避難と一時避難生活のニーズに対応するしくみをネットワークでつくりました。

生活再建のための情報、相談の実施に関しては、今年度は、新たに移住して来られた方が激減したため、これまで相談、情報提供した方が主な対象となりました。それ以外に、避難者に物資を届けたいという団体からの問い合わせを受け付け、避難者へ物資をお届けしました。

一時避難者の受入事業に関しては、参加させた保護者からは、福島ではできない外での遊びや川遊びなどの活動ができたことと感謝の声が聞かれました。明石や作用での交流行事も多く、心のきずなが深まりました。また自主的に夕食づくりの手伝いや掃除の手伝いをする子どももあり、子どもたちの成長が確認できました。福島の保護者達に、震災後1年が過ぎた今、震災当日の状況を思い出してもらい、話してもらうことで、記憶としてとどめる作業の手助けができました。

他団体と連携したことで、非常に多くの被災地の子どもと保護者の受け入れを実施することができました。そして、連携する中で、様々なニーズや被災地の状況についての情報交換などもでき、今後の活動に繋げることができました。